PART2　まほし・たし・ごとし

まほし・たし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	まほし			○		○	○　○	型
形	たし			○		○	○　○	型

【意味】

① 希望（～たい）

（例）

下り**まほしう**なりにたらむ。

家にあり**たき**木は、松・桜。

問十二　「またまたも見まほしきに、ありもつかぬ…」の傍線部の活用の種類と活用形を答えよ。

問十三 「なほ童（わらは）にてあらせ<u>まほしき</u>さまを、…」の傍線部の文法的意味として適当なものを、次の中から選べ。

ア　反実仮想の助動詞　　イ　断定の助動詞　　ウ　伝聞の助動詞
エ　現在推量の助動詞　　オ　希望の助動詞　　カ　願望の終助詞

ごとし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
体言・連体形 助詞「の・が」	ごとし	**ごとく**	ごとく	ごとし	ごとき	○	○	形容詞型

※助詞「の・が」に付く場合

●体言＋の＋**ごとし**

(例)　ただ春の夜の夢の**ごとし**。

●連体形＋が＋**ごとし**

（例）過ぎたるは猶及ばざるが**ごとし**。

【意味】

① 比況（〜**ようだ**）
② 例示（〜**ようだ**）

（例）扇を広げたるが**ごとく**末広になりぬ。

和歌・管弦・往生要集**ごとき**の抄物を入れたり。

〈Memo〉

第15講　PART2　確認問題

① 傍線部の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

「かぐや姫を<u>見まほしうて</u>物も食はず思ひつつ、…」

ア　見せたくて　イ　見てみたくて　ウ　見るに違いなくて　エ　見ることができたので

② 傍線部には誤りがある。活用形として最も適当なものを、次の中から選べ。

「すこしのことにも、先達（せんだつ）はあら<u>まほし</u>事なり。」

ア　まほしき　イ　まほしかり　ウ　まほしかれ　エ　まほしく

③ 文章の空欄に当てはまる助動詞として、最も適当なものを次の中から選べ。

「いよいよよくし［　　］覚えてたしなみけるほどに、…」

ア　たし　イ　たき　ウ　たけれ　エ　たく

④　傍線部の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

「わが食ひたき時、夜中にも暁にも食ひて、…」

ア　食べようとしている時
イ　食べさせたい時
ウ　食べたい時
エ　食べることができる時

⑤　「吹ききられたるほのほ飛ぶがごとくして、」の傍線部について、その活用形として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

第15講　PART2　解答

問十二　マ行上一段活用・未然形

問十三　オ

第15講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 助動詞「まほし」の意味は「希望（～たい）」である。よって、正解はイ。

② 傍線部の下には体言が続くので、連体形にする。助動詞「まほし」の活用形は「(まほしく)／まほしく／まほし／まほしき／まほしけれ／○」。よって、正解はア。

③ 空欄の下には、ヤ行下二段活用「覚ゆ」が続くので、連用形にする。助動詞「たし」の活用形は「(たく)／たく／たし／たき／たけれ／○」。よって、正解はエ。

④ 助動詞「たし」の意味は「希望（～たい）」である。よって、正解はウ。

⑤ 傍線部の下には、サ変動詞「す」が続くので連用形である。助動詞「ごとし」の活用形は「(ごとく)／ごとく／ごとし／ごとき／○／○」。よって、正解はイ。

〔解答〕

① イ　② ア　③ エ　④ ウ　⑤ イ